



ほけんだより

令和3年6月



晴れたり雨が降ったり、天気の変り変わりが多いこの時期。

保育園ではこまめに着替えができるように、できれば綿素材の肌着を数枚ご用意ください。また、過ごしやすい環境作りに配慮し、毎日のお子さまの様子の変化に気を配っていきましょう。

熱中症予防のポイント

1.子どもの異変に敏感になる

顔が赤く、ひどく汗をかいている場合は、涼しい場所で十分な休息を取りましょう！

2.外出時は照り返しに注意

子どもは身長が低い為照り返しの影響を大人より受けてしまいます。

3.服装を選ぶ

意識的に涼しい服を着せるようにしましょう。

4.水をこまめに飲ませる

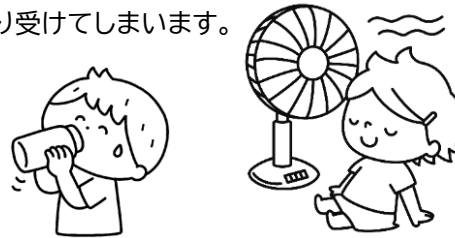
5.日頃から暑さに慣れさせる

本格的に暑くなる前から運動し汗をかき暑さに強い体を作りましょう。

いつもエアコンの効いた部屋にいて汗をかかずにいると、暑さに弱くなります。

6.絶対に、車内に子どもを置き去りにしない

ちょっとした間だけだからと油断せず、常に一緒にいてあげる心配りを忘れずに。



シャワー・水あそびのおねがい



14日(月)から夏の健康観察表の記入を毎日おねがいします。

・カード忘れ・記入漏れ・タオル忘れの場合は、シャワー・水遊びに参加できなくなってしまいます。必ず提出してください。

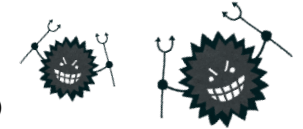
・ひまわり・ゆり・ちゅうりっぷ組は、体温も忘れずにおうちで測定してきてください。

・カードに注意事項を記載してありますので、必ずお読みください。

気をつけましょう！夏の3大風邪

①咽頭結膜炎(アデノウイルス) <登園許可書が必要となります>

発熱(38-39℃)、のどの痛み、結膜炎といった症状が出ます。高熱が比較的長く5日前後に及ぶこともあります。



②手足口病(コクサッキーウイルス、エンテロウイルス)

感染してから3-5日後に口の中、手のひら足底などに2-3mmの水疱性発疹が出るほかに3分の1に発熱が見られますが大半の発病者は数日間のうちに治ります。全体の90%前後を5歳下の乳幼児が占めています。

③ヘルパンギーナ(エンテロウイルス)

突然の発熱(38-40℃)と口腔粘膜に現れる水疱性発疹を特徴とした急性のウイルス咽頭炎です。潜伏期間は2-4日で手足口病と同様に5歳以下が全体の90%以上を占め中でも1歳代が最も多くなってします。

手足口病、ヘルパンギーナは登園の際に登園届をお持ちください。

登園届は、当園のホームページに掲載しています。

※登園の目安は登園届の下部に記載してありますのでご参照ください

6月のほけん行事

歯科検診 17日(木)9時~ 全園児対象です

頭髪検査 7日・21日(月)

身体測定 ひまわり、ゆり、ちゅうりっぷ 9日(水)

すみれ、あじさい、よつば 16日(水)

